

ほんのひろば

2019年^{ねん}
だい^{だい}第30号^{ごう}

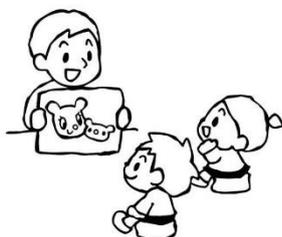


おはなしかいのお知らせ

みんなは、おはなしかいにきたことはあるかな？
がくしゅう^{がくしゅう}センターのわしつ^{わしつ}でまってるよ♪

おはなしひろば

4さい^{しょうがくせい}～小学生むけ



これからの よてい

ひにち	テーマ
12月 ^{がつ} 7日 ^{にち} (土) ^ど ※	とくべつな日 ^ひ
1月 ^{がつ} 12日 ^{にち} (日)	ねずみ
2月 ^{がつ} 2日 ^{にち} (日)	むかしむかし

※ 年^{ねん}に2回^{かい}のおはなしかいスペシャルです。

★毎月^{まいつき}1回^{かい} (予定^{よてい}を確認^{かくにん}してください) ★午前^{ごぜん}11時^じ～11時^じ45分^{ぶん}

★テーマにあわせた絵本^{えほん}のよみきかせ、本の紹介^{ほんしょうかい}、手あそびなど。

※おはなしかいのスタンプカードがあります。スタンプをあつめるとプレゼントがもらえるよ。

おひざにだっこの おはなしかい

3さい^こまでのお子さんと保護者^{ほごしや}むけ



これからの よてい

12月 ^{がつ} 12日 ^{にち}
1月 ^{がつ} 9日 ^{にち}
2月 ^{がつ} 13日 ^{にち}
3月 ^{がつ} 12日 ^{にち}

★毎月^{まいつき}第2木曜日^{もくようび} ★午前^{ごぜん}10時^じ30分^{ぶん}～11時^じ

★絵本^{えほん}のよみきかせ、手あそびなど。

おはなしかいのようす

「おはなしひろばスペシャル」のようすです。

おや^{おや}らでおはなしをきいたり、かんたん^{かんたん}なこうさく^{こうさく}をして楽^{たの}しんでいます。大きな絵本^{おおえほん}やパネルシアターなどのめずらしいプログラムがみられますよ！

はじめて^{はじめて}のひと^{ひと}も、ぜひあそびにきてくださいね。



としょかん おすすめのほん



『りんごって、どんなくだもの？』

安田 守／写真・文 岩崎書店 (B62-ヤスダ)



たくさんのひんしゅがあるりんご。
なかみが^{あか}赤い、めずらしいものもある
と^し知っていましたか？
りんごが^{みせ}お店に^{なら}並ぶまでの^{なが}流れや、
りんごがどのように^{にほん}日本に^{つた}伝わり、^{へん}変
化してきたのかなど、たくさんのりん
ごの^{みつ}ひみつを知ることができます。

『つらら みずとさむさとちきゅうのちから』

細島 雅代／写真 伊地知 英信／文
ポプラ社 (B45-ホソジ)



ねじれていたり、こぶこぶ
になっていたり、おもしろい
^{かたち}形のつらが^{しやしん}写真でしょう
かいされています。
つららの^しふしぎを知って、
おもわずつららの^{かんさつ}かんさつに
でかけたくなる1冊です。

『ねこの小児科医ローベルト』

木地 雅映子／作 五十嵐 大介／絵
偕成社 (Y913-キジカ)



ある夜、ユキの^{おとうと}弟のユウくんの
^{ぐあい}具合が悪くなってしまいました。
^{きゅうきゅうしゃ}救急車を呼ぼうか^{かぞく}家族で^{そうだん}相談して
いると、ふと^{おちた}落ちた^{でんわちょう}電話帳に、「^{やかん}夜間
^{せんもん}専門小児科医 ^{まつだ}松田ローベルト」とい
う^{なまえ}名前が^{ひか}光って見えました。^{でんわ}電話を
かけると、すぐに家^{いえ}にかけつけてくれた
^{せんせい}先生。でもその^{すがた}姿を見て、みんな^{びっ}びっ
くり。えっ、ねこの^{せんせい}先生！？

『二年二組のたからばこ』

山本 悦子／作 佐藤 真紀子／絵
童心社 (Y913-ヤマモ)



^{もの}物をなくしてばかりのたからくん。
^{せんせい}先生は、たからくんのおとし^{もの}物を入れる
^{はこ}箱をつくって、「たからばこ」とい
う^{なまえ}名前をつけました。
たからくんの^{せま}となりの^{せま}席のみなは、
たからくんにいつも^{なに}何かを「かして」
と言われ、^{すこ}少し^{めい}めい^{わく}わくしています。
そこである日、^{かす}かすのを^{ことわ}断ってみる
ことにしますが……？

『かげパ』

富安 陽子／作 しまだ とみみ／絵
ひさかたチャイルド (E-シマダ)



あおいつきの^{よる}夜に、「ぼく」は、こっ
そりでかけようとした「ぼくのかげ」を
^み見つけます。かげは、かげの^{パーティー}パーティ
である「かげパ」に行くといひます。
「ぼく」も^つ連れて^い行ってもらえること
になり、ふたりは^{よぞら}夜空へと^{とび}びだしまし
た。かげの^{せかい}世界とは、どんな^{せかい}世界な
のでしょうか？

『タタタタ』

りとう ようい／作 絵 鈴木出版 (E-リトウ)



すごい^{はや}速さでチーターが^{はし}走って
います。びっくりしたガゼルが^に逃げま
すが、あれれ？ ガゼルを^と飛びこえ
て、^{まだ}まだ^{はし}走っていきます。
チーターはどうして^{はし}走っているの
でしょうか？ ^{さいご}最後は^{ちよつ}ちよつと^{びっ}びっ
くり、けれど^{わら}笑ってしまう、そんな
^{はなし}お話です。
チーターの^{はし}ダイナミックな^{はし}走りっ
ぶりにも^{ちゅうもく}注目です。



おはなしひろばで しょうかいした ほん



テーマ・ひんやり

『よかったねネッドくん』（Eーシヤリ）

レミー・シャーリップ／さく やぎた よしこ／訳
借成社

ある日、パーティへの招待状をもらったネッドくん。パーティはとおいとおい、いなかでやるんだって。ともだちが ひこうきをかしてくれただけ、たいへん！ ひこうきが ばくはつ！ 次々と起こるトラブルを乗り越えて、無事にパーティへいけるのでしょうか。ドキドキ、ヒヤヒヤしながらも、ネッドくんから目がはなせません。

『うみのかくれんぼ』（B48ーウミノ）

ひさかたチャイルド



海のなかには、かくれんぼがじょうずないきものがたくさんいます。砂やいそぎんちゃくのなかに身をかくしたり、岩とそっくりな姿でじっとしている様子は、まるで忍者のようです。海のいきものたちが生きていくための工夫を、「さがし絵」で楽しく学んでみませんか？

『はだしになっちゃえ』（Eーサイト）

小長谷 清実／ぶん サイトウ マサミツ／え
福音館書店

シャツをぬいで、さあ、海へ。すなの上で、はだしになったら、あしのうらが、あっちっち。海へはいるとひやとして、やわらかくてきもちいい！ 波がくると、つめたくてくすぐったい。はだしの感覚の楽しさがいっぱいあふれている1冊です。

テーマ・見あげてごらん

『とりづくし』（Eーイシイ）

内田 麟太郎／作 石井 聖岳／絵 鈴木出版

とりはとりでもどんなとり？ 「あやとり」、「ちりとり」、「うっとり」、それから「おんどとり」？ さいしょからさいごまでいろいろな「とり」がでてくる、リズムカルな言葉遊びがたのしい絵本です。

『宇宙探検えほん』（B53ーウチュウ）

宇宙航空研究開発機構／監修協力 小学館

空を見上げたそのずっと先には、宇宙が広がっています。そこにはたくさんの天体があり、多くの謎があります。人はその謎を解くためにいろいろな挑戦をしてきました。太陽系の天体や宇宙探検のあゆみ、世界の国々のロケットや宇宙飛行士の仕事などについて、絵と写真でわかりやすく説明した1冊です。

『おさとぼうしうり』（Eースロボ）

エズフィール・スロボドキーナ／さく・え

まつおか きょうこ／やく 福音館書店

ぼうしをたくさん頭にのせて売り歩くぼうしうり。ある日、木の下でぐっすりねむってしまい、目がさめるとぼうしがなくなっていました。見ると、木の上のさるたちが、ひとつのこらずかぶっています。さて、ぼうしうりは、さるたちから大事なぼうしをとりかえすことができるでしょうか。

おひざにだっこのおはなしかいで しょうかいした ほん

『やさいのおなか』（Eーキウチ） きうち かつ／さく・え 福音館書店



つぎつぎとでてくるふしぎなもよう。それはやさいをきったときのきりくちです。さあ、このやさいはなにか？ 大きい子でも、やさいのなまえをあてるクイズあそびでたのしむことができます。

『でんしゃくるかな？』（Eーキクチ） きくち ちき／作 福音館書店



みんながだいすきなでんしゃ。「くるかな？ くるかな？」たのしみにまっていると「きた～！！！」でんしゃがくるたび、みんなにっこり。どうぶつのひょうじょうがたのしいえほんです。



いいざか♨たんけん



せんになぶろ
～千人風呂～

せんになぶろ たいしょうはちねん ねん つく いいざかめいぶつ おんせん
千人風呂は、大正八年（1919年）に作られた、飯坂名物の温泉のひとつです。

よく おお なが やく はばやく ふか やく
浴そうの大きさは長さ約14メートル、幅約7メートル、深さ約1.2メートルと、

とうじ おんせん ばしよ いいざかしょうがっこう きた なが
当時としてはめずらしい、きよだいな温泉でした。場所は、飯坂小学校の北を流れる

あかがわぞ
赤川沿いがありました。

しょうめん げんかん き かいだん お ふじさん ひろ ゆぶね
正面の玄関から木の階段を降りると、かべに富士山がえがかれている広い湯舟があ
りました。そこに、こどもがさんにも乗れるほどのこぶねがうかべられ、こどもたちはひろ
い温泉をたのしく、アヒルのように泳いでいたといわれています。また、げんかんに
はビールやサイダーなどの飲み物、くだものやおかしなどの食べ物、絵はがきなどが
う売られていました。とうじのこどもたちはおんせんであたたまって、かわいたのどをばいてん
の飲み物でうるおしたことでしょう。

いまはもうありませんが、いいざかちょうみん ちか まち むら ひと にんき
のあった温泉でした。飯坂町出身以外の人、ひよっとしたらおじいちゃんやおばあ
ちゃんに思い出話を聞くことができるかもしれません。

さんこう ほん
<参考にした本>

ふくしましし べっかん
『福島市史 別巻6』

福島市教育委員会内福島市史編纂委員会／編纂 福島市教育委員会 (K212. 6-フクシ)

ふくしましししりょうそうしょ だい しゅう
『福島市史資料叢書 第74輯』 福島市史編纂委員会／編集 福島市教育委員会 (K212. 6-フクシ)

ふくしましこんじゃくしゃしんちょう
『福島市今昔写真帖』 郷土出版社 (K212. 6-フクシ)

いいざか ゆ の おんせんゆうらんあんない
『飯坂湯野温泉遊覧案内』 石塚 直太郎／著 石塚 直太郎 (K291. 2-イシズ)

ほんのひろば 第30号 2019年11月発行



携帯サイトからも
蔵書検索ができます。



編集：飯坂学習センター図書室

〒960-0201 福島市飯坂町字銀杏6-11 TEL 542-2122

発行：福島市立図書館

〒960-8018 福島市松木町1-1 TEL 531-6551

ホームページ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>

携帯ホームページ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile/library/>